

ISO通信 2018 3月号

— ISO マネジメント研究所の事務所通信 —

2018 年 3 月 29 日発行

発行責任者 人見 隆之

ISO マネジメント研究所

〒279-0026 浦安市弁天 1-21-8-204

E-mail: info@iso-mi.com

<https://www.iso-mi.com>

最近の ISO に関する情報を中心に、
企業経営に役に立つ情報、組織内で使えるような
話のネタなど独自に厳選してお伝えします。

ニュース



労働安全衛生の国際規格、ISO45001 発行

3 月 12 日、労働安全衛生の国際規格である ISO45001 が発行された。ISO45001 の発行に伴い、OHSAS18001 は廃止される。OHSAS18001 から ISO45001 への移行に当たっては、3 年間の移行期間が設けられている。また、JIS Q45001 及びこれと一体でより具体的に運用する日本版マネジメント規格（仮称：JISα）は、今夏に発行予定。

詳細：<https://www.jsa.or.jp/iso45001sp>

トランスコスモス、タイで ISO27001 認証取得

3 月 8 日、トランスコスモス株式会社（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長兼 COO：奥田昌孝）の子会社であるトランスコスモス（タイ）株式会社（本社：バンコク、Managing Director：武智清訓）は、情報セキュリティマネジメント（ISMS）の国際規格である ISO/IEC 27001 の認証を取得したことを発表した。

詳細：<https://www.trans-cosmos.co.jp/company/news/180308.html>

P マーク取得の S A Y 企画、年金情報 31 万人分の入力ミス

3 月 20 日、日本年金機構の水島藤一郎理事長は、年金データの入力業務を委託している株式会社 S A Y 企画（所在地：東京都豊島区 社長：切田精一）が、契約で禁止されていた再委託を中国の企業に行っていたことを謝罪した。500 万人分のデータ入力業務を中国の企業に再委託したという。また、新たにおよそ 31 万 8,000 人分のデータ入力ミスがあることも明らかにした。株式会社 S A Y 企画は、P マークおよび ISO9001 の認証を得ている。

今月の言葉

昔は安い酒で

夢のことばかり話していた。

最近は高い酒で

金のことばかり話してる。

出典：『毎日読みたい365日の広告「バー」』

二〇一〇年に制作された「カラオケスナックさくら」での広告「バー」です。昔は良かったというノスタルジーは誰しもある程度、持っているものでしょう。今の時代も仮想通貨を始めとしたお金の話が多いようですが、これからの世の中は、どうなるのでしょうか。

マネジメントシステムで会社を変える

- 人に罪を作らせない仕組み作り -

品質データの偽装、公文書の改ざんが世間を騒がせ、記録の信頼性がゆらいでいます。組織の現場においても、改ざんまでは至らないが、うまくつじつまを合わせて記録を作るということは、あるのではないのでしょうか。しかしながら、つじつまあわせが記録記載のスタンダードとなってしまうと、絶対に行ってはならない安全記録や顧客との契約上の記録なども、つじつまあわせのために、改ざんしてもかまわないということになりかねません。組織において、何が一番弱いところかという、人間そのものです。易きに流れるというのが人間の特性です。安易なツールを導入して、それで終わりとせず、腰を据えて、行っではいけないことは、絶対に行かせないという、人に罪を作らせない仕組みが、組織には必要です。

ISO・Pマーク取得・維持支援コンサルティング実績

ISO27001：印刷業・従業員数 100 人、ISO27001：物流業・従業員数 98 人、ISO9001／ISO27001：情報サービス業・従業員 180 人、ISO9001：内装工事業・従業員数 20 人、ISO9001：建設コンサルタント業・従業員数 22 人、ISO9001：特別養護老人ホーム・従業員数 41 人、ISO14001：情報処理業・従業員 600 人、ISO9001：ばね製造業・従業員数 45 人、ISO14001：プラスチック製造業・従業員数 50 人、ISO14001：ばね製造業・従業員数 30 人、ISO14001／ISO9001：印刷業・従業員数 10 人、P マーク：ホームページ制作業・従業員数 18 人、P マーク：情報処理業・従業員数 12 人、その他中小企業。

今月の1冊



書名：『ストリップの帝王』

著者：八木澤 高明

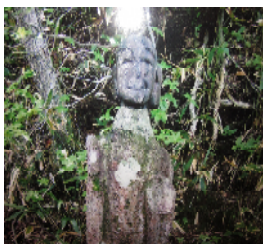
発売日：2017 年 12 月

出版社：KADOKAWA

銀行員からひょんなことからストリップ劇場の経営に携わり、ストリップ業界の帝王とも呼ばれた瀧口義弘氏の一代記です。この本の中には、その当時の時代状況もよく描かれています。単に瀧口氏の波瀾万丈の話ではなく、ストリップというアンダーグラウンドな世界から世の中を考えてみるのができる本です。

編集後記

桜の季節となりました。東京では、平年より九日早く開花し、今月二十四日に満開となりました。桜の美しさは、ぱっと咲いて、ぱっと散ることにあるともいわれますが、これは日本人の美学ですね。「潔さ」は、最近、死語になったような感じがしますが、日本人の根底の価値観には、まだまだ存在するよう思います。



笑い地蔵

那須高原にある『自在荘』という温泉旅館に泊まりにいったとき、その旅館に飾ってありました。